

沖水中学校 便り

令和4年 11月 ①



教育目標 『自他共栄』

感謝の心と自他を大切にすることをもち、
たくましく生きる生徒の育成

○TEL 38-1335 FAX 38-6760

○https://cms.miyazaki-c.ed.jp/4307/



～ ～ ～ ～ ～ 2022年度の前半を振り返る ～ ～ ～ ～ ～

早いもので、11月も半ばとなりました。今年度の本校の教育目標である『自他共栄』は、「感謝の心と自他を大切にすることをもち、たくましく生きる生徒の育成」を目指すものです。様々な行事や学校生活の中で、生徒たちの成長が感じられる場面が増えたと感じるともに、これからの課題も明らかになっています。そこで、各学年の『良くなっていると感じる点』と『課題』について、学年主任の先生方にお聞きしました。（第3学年の分は、次号にて紹介いたします。）

第1学年



【良くなっていると感じる点】

- ・ 中学校の生活に慣れ、特に部活動に意欲的に取り組んでいる生徒が多い。
- ・ 進んで元気のよいあいさつができる生徒が増えてきた。
- ・ 体育大会や文化祭等の行事に自主的に取り組もうとする生徒が多い。

【課題】

- ・ 人の話を落ち着いて聞くことができない生徒が多い。
- ・ 基礎学力の定着及び学力向上が課題。

第2学年

【良くなっていると感じる点】

- ・ 課題忘れが減り、授業への取り組みがよくなってきた。
- ・ 体育大会や行事に意欲的に取り組む様子が見られた。また、生徒会選挙や全校専門委員会、修学旅行実行委員など、責任ある仕事に挑戦しようとする生徒が増えてきた。

【課題と対策】

- ・ 自己表現を苦手としている生徒が見られ、授業中の発言・発表などが一部の生徒に偏りがちである。発言しやすい授業の雰囲気作りや学級づくりを行う。
- ・ 行動や言動に落ち着きのない生徒がみられる。学校の中心となっていくことを自覚させ、意識向上を図る。



2年生からは、他にも「月曜日のタブレット忘れ、充電忘れが多い」「SNSの利用での問題があった」ことが、課題として挙げられましたが、これらは他学年にも共通しています。“忘れ”をなくすよう、自覚を促す指導をしていくとともに、SNSの利用についても、その都度指導を行っていきます。ご家庭でも、利用上のマナーやルールについて声かけをお願いいたします。

先生たちも生徒たちの成長に負けないように、日々研修を重ねています。

今年から本格的にスタートしたGIGAスクール構想により、生徒たち一人ひとりがタブレットを用いて学習する機会が増えました。先生たちもこのどう使えば、よりわかりやすい授業になるか、学力の定着につながるかなど、より有効活用できる方法について、情報交換をしたり研修したりしています。



←2年生
国語の研究
授業

小学校の→
先生方と合
同研修会



都城市教育
研究所主催
の研修会
では、3年生
の外園先生が、CT活用の講師を務めました。



冒頭に掲げた教育目標『自他共栄』の精神は、生徒たちだけではなく、私たち大人にもあてはまるものです。生徒や保護者の皆様はもちろんのこと、地域の方々への感謝の気持ちを忘れずに、日々の教育活動に励みたいと思います。